

「清流の国ぎふ森林・環境税」に関するアンケート調査結果

恵みの森づくり推進課

1 目的

県では、県民の共有財産である豊かな森林や清らかな川を保全・再生するために、「清流の国ぎふ森林・環境税（以下、「森林・環境税」という）」を導入し、水源林や里山林の整備、生物多様性や水環境の保全など「清流の国づくり」に資する事業に活用しています。

森林・環境税は、今年から課税期間を延長し、引き続き自然環境の保全・再生に取り組んでおり、今後の森林・環境施策の基礎資料とするために、ご意見を伺いました。

2 調査対象等

調査対象：県政モニター516人（うちインターネットモニター251人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成29年11月1日～11月17日

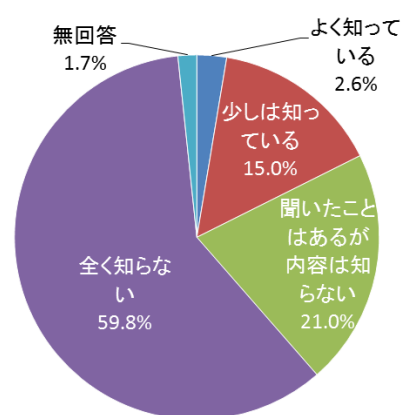
回収結果：420名（回収率81.4%）

その他：調査結果の構成比率はパーセントで表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100.0%にならない場合があります。

3 結果概要

・森林・環境税の認知度について

「森林・環境税」の認知度は38.6%となっている（「よく知っている」2.6%、「少しは知っている」15.0%、「聞いたことはあるが内容は知らない」21.0%の合計）。一方、「全く知らない」は59.8%となっている。

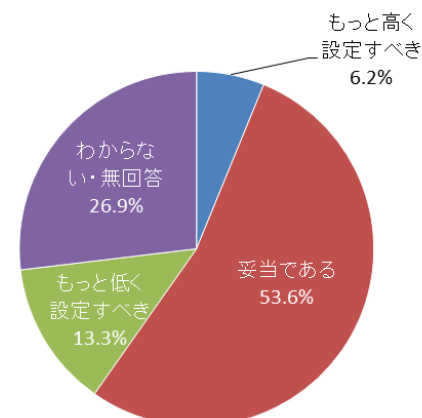


・森林・環境税の使いみちについて

「森林・環境税を活用した取り組み」について、最も大切だと思うものは「環境を保全するために水源林などの間伐を進める」が64.6%、次いで「身近な里山林を整備し資源の利用を進める」（33.3%）、「生物多様性や水環境の保全のため、外来生物の駆除や河川清掃を進める」（25.3%）の順となっている。

・森林・環境税の税率（個人年額1,000円）について

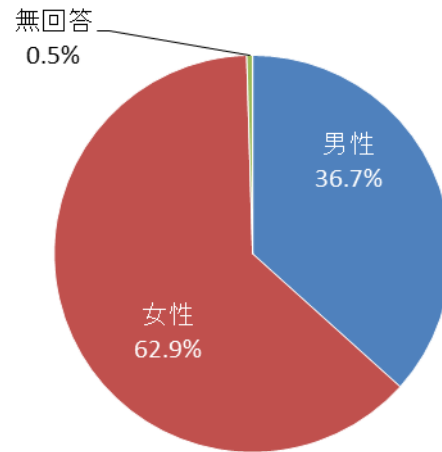
「森林・環境税の税率（額）」について、「妥当である」が53.6%と最も高く、「もっと低く設定すべき」が13.3%、「もっと高く設定すべき」が6.2%となっている。



回答者の属性

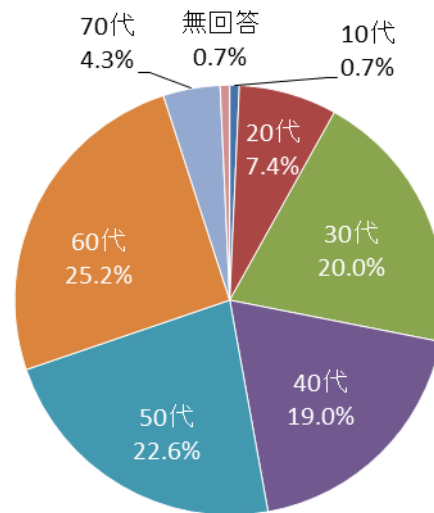
(1) 性別

	人数	割合
男性	154	36.7%
女性	264	62.9%
無回答	2	0.4%
合計	420	



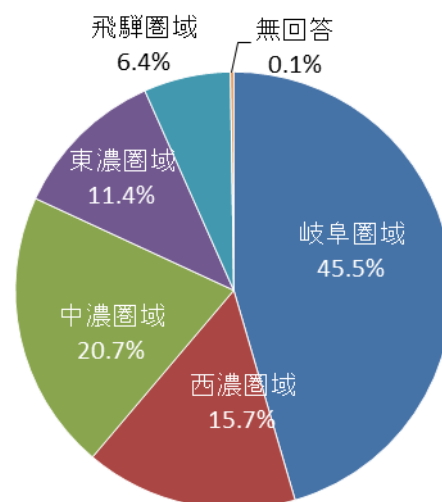
(2) 年代別

	人数	割合
10代	3	0.7%
20代	31	7.4%
30代	84	20.0%
40代	80	19.0%
50代	95	22.6%
60代	106	25.2%
70歳以上	18	4.3%
無回答	3	0.7%
合計	420	



(3) 居住圏域別

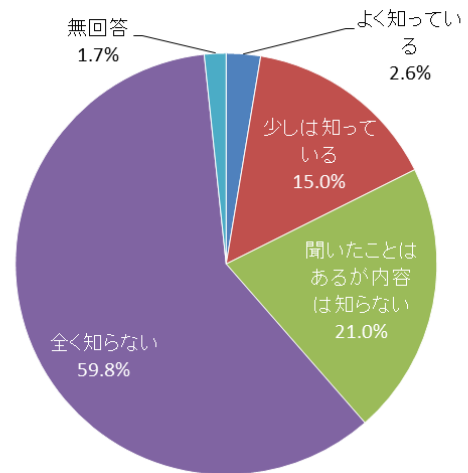
	人数	割合
岐阜圏域	191	45.5%
西濃圏域	66	15.7%
中濃圏域	87	20.7%
東濃圏域	48	11.4%
飛騨圏域	27	6.4%
無回答	1	0.2%
合計	420	



5 調査結果

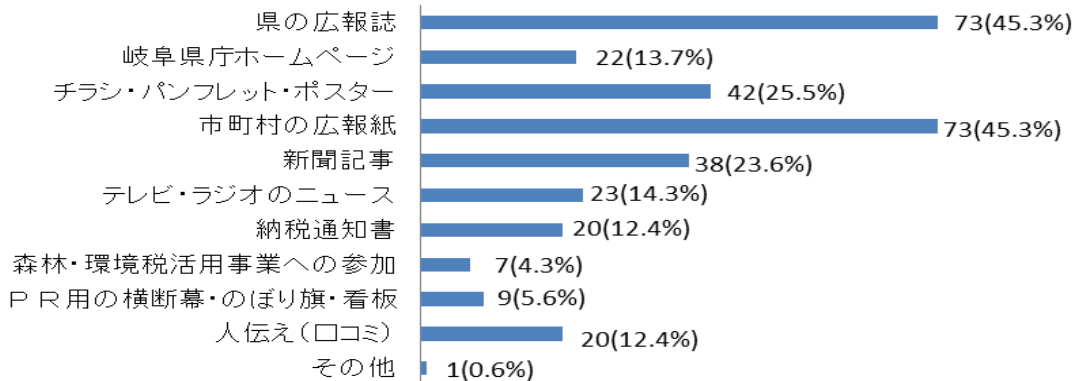
問1 「森林・環境税」について、ご存じですか？（回答数 420 人）

	人数	割合
内容についてよく知っている	11	2.6%
内容について少しは知っている	63	15.0%
聞いたことはあるが内容は知らない	88	21.0%
全く知らない	251	59.8%
無回答	7	1.7%
合計	420	100.1%



問2（問1で「知っている」「少しは知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方）
なに（どこ）でお知りになりましたか。
（複数回答 回答数 161 人／327 件）

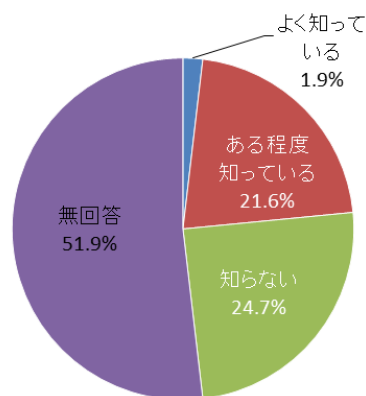
	件数	割合
県の広報紙	73	45.3%
岐阜県庁ホームページ	22	13.7%
チラシ・パンフレット・ポスター	41	25.5%
市町村の広報紙	73	45.3%
新聞記事	38	23.6%
テレビ・ラジオのニュース	23	14.3%
納税通知書	20	12.4%
森林・環境税活用事業への参加	7	4.3%
PR用の横断幕・のぼり旗・看板	9	5.6%
人伝え（口コミ）	20	12.4%
その他	1	0.6%
合計	327	



【その他】 ミニコミ誌

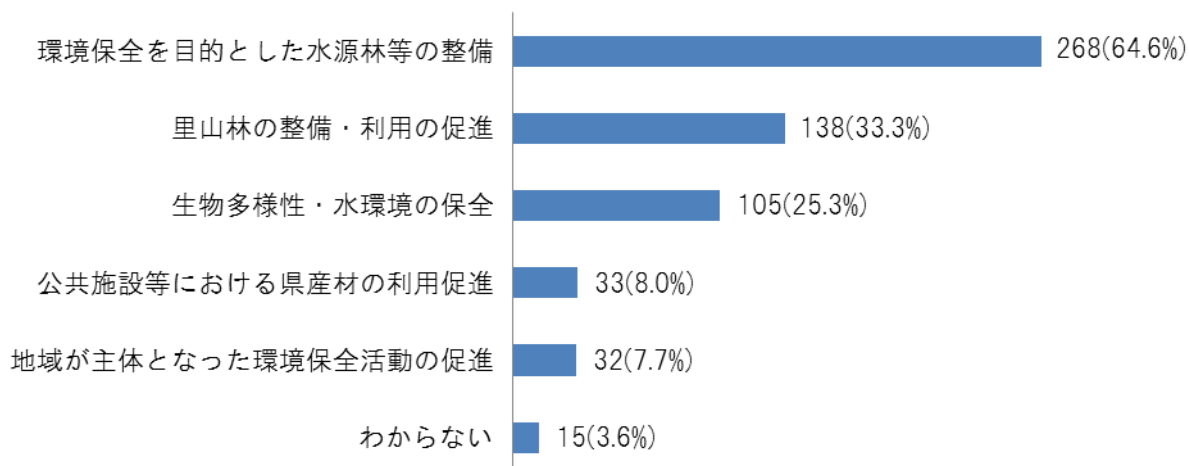
問3 (問1で「知っている」「少しは知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)
 森林・環境税の使いみちをご存じですか？
 (回答数 162 人)

	人数	割合
よく知っている	3	1.9%
ある程度知っている	35	21.6%
知らない	40	24.7%
無回答	84	51.9%
合計	162	100.1%



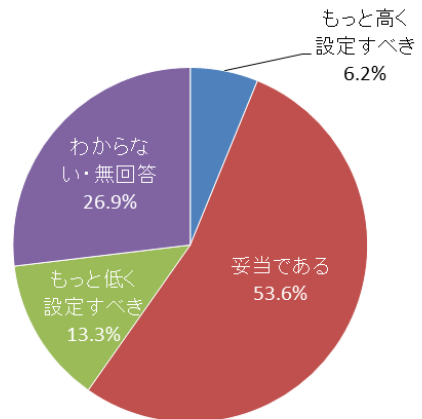
問4 森林・環境税は現在、以下の取り組みに活用されています。
 あなたが大切だと思う取り組みを3つまであげてください。
 (複数回答 回答数 415 人/594 件)

	件数	割合
環境を保全するため水源林などの間伐を進める	268	64.6%
身近な里山林を整備し資源の利用を進める	138	33.3%
生物多様性や水環境の保全のため、外来生物の駆除や河川清掃を進める	105	25.3%
学校の内装に木材を使うなど県産材の利用を進める	33	8.0%
地域の住民が主体的に環境保全活動を進める	32	7.7%
わからない	15	3.6%
合計	594	



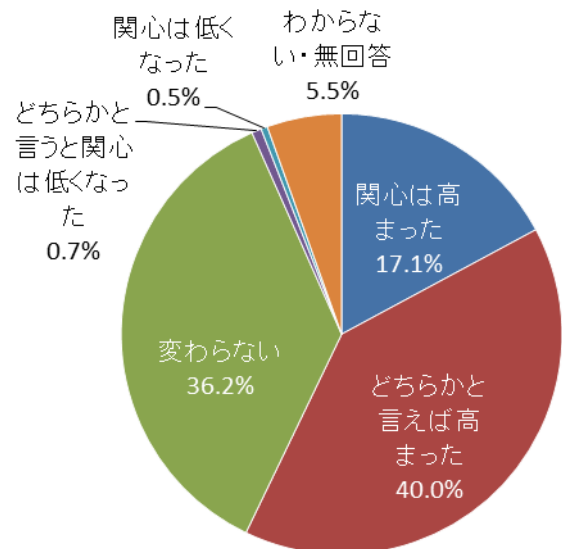
問5 森林・環境税では、県内に住所のある方、県内に屋敷等を持っている方から、お一人あたり1,000円をいただいています。この税率(額)についてどうお考えですか。
(回答数 420 人)

	人数	割合
もっと高く設定すべき	26	6.2%
妥当である	225	53.6%
もっと低く設定すべき	56	13.3%
わからない・無回答	113	26.9%
合計	420	100.0%



問6 近年、森林や川、水環境、生物多様性、自然環境に対する関心は変化しましたか。
(回答数 420 人)

	人数	割合
関心は高まった	72	17.1%
どちらかと言えば関心は高くなった	168	40.0%
変わらない	152	36.2%
どちらかと言うと関心は低くなった	3	0.7%
関心は低くなった	2	0.5%
わからない・無回答	23	5.5%
合計	420	100.0%



7 その他、森林や自然環境に関する県の施策に対して、ご意見ご感想ございましたらお聞かせください。(件数 136 件)

【主な意見】

(広報・PRについて)

- パンフレットについて、林業の専門家や議員の方、政治関係者なら理解できると思いますが一般県民が読んで理解できる人はどのくらいいるのでしょうか。内容が盛りだくさんで、文字がかなり多く、専門用語も使われている。もう少し、平易な言葉でわかりやすく「なぜ環境税が必要か」をまとめたパンフレットが必要ではないでしょうか。
- 色々な補助金がありますが県民が一生懸命勉強しないとわからない補助金があります。その補助金を受けるにあたり手続きが大変ややこしいから業者の方から教えていただけない。例は家をリフォームするときの耐震補助金など・・・もっと県民の方々が手軽に補助金を受けられるようPRしてほしいと思います。

(問題提起)

- 高額な税金の割には使途が見えない。市民は自動車税、上下水道使用料等、生活上の環境税はしっかりと取られています。森林環境税の必要性を訴える以上、どのように使われたのか、成果はどうか知らせるべきだと思う。また、事業者に事業が委託されるケースが多いと考えるが、当税は個人と事業者との負担割合も考慮され税額を決められるべきと考える。
- 環境を整えたり、水環境の保全などは必要だと思うが関連施設を新築したり、学校や既存施設の木質化や運動場の緑化などは無駄だと思うのでやめてください。施工すること自体がかかることを考えてほしいです。手入れが届かなくなってボロボロになった建物や公園をよく見かけます。放置するなら最初から無い方がいいです。もしやるなら数をやたらと増やすのではなく厳選して長時間、維持できるものにしてください。
- 所有者不明の森林や田畑が今後超高齢社会で増加するため、岐阜県として所有者不明の森林に対して早急に施策を出すべき。自然災害が増える傾向にあり、治山・治水・災害対策を進めるうえでも大きな問題となりうるので施策をだすべき。岐阜県所有の森林を今後増やすべき。

(使途について)

- 木育教育は良いと思います。また、自然の中、森林の中で活動することは、子供、大人も癒しや心が豊かになるような気がします。自然の中に木の遊具、健康づくりの施設があるとよいです。できれば入場料無料。
- 外来生物は年々増えているように思う。個人的には対応はなかなか困難なので、やはり県の事業として駆除や河川掃除はしっかりやってほしい。

(その他)

- 後の世代に豊かで整備された自然環境を引き継いでいくため、これまで以上に積極的に取り組んでいくことを望みます。
- 恥ずかしながら森林・環境税のことを知らなかったが、こうした使われ方をするのは理想的だと思う。岐阜県は森林・山に囲まれている素晴らしい県で、今後もこの環境を守っていくためにはこうした活動は必須だと考える。他にも積極的な施策をうっていくべきだと考える。